



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長島 雅
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務戦略部マネージャー (氏名) 松本 英士 (TEL) 047(774)8748
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,874	1.0	△176	—	△190	—	△202	—
27年3月期第2四半期	4,824	3.3	△91	—	△94	—	△125	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △206百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△11.44	—
27年3月期第2四半期	△7.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,045	4,245	52.8
27年3月期	8,339	4,553	54.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,245百万円 27年3月期 4,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	1.7	180	409.7	170	394.0	100	—	5.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	18,392,000株	27年3月期	18,392,000株
28年3月期2Q	882,445株	27年3月期	648,334株
28年3月期2Q	17,709,962株	27年3月期2Q	17,743,952株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、円安による原材料費の高騰により製造原価への影響があり、引き続き厳しい経営環境となっています。

食に対するニーズは、引き続き低価格志向が高まる中、高品質でこだわりのある商品を求められるお客様も増加傾向にあります。また、一人・二人世帯の増加、ファミリー世帯の減少等の影響により食生活も多様化してきました。

このような変化の中、当社は無添加調理を基本に素材を生かした本物の味を引き出すため、鶏ガラや鰹節、昆布から自社で出汁を取り、塩分に配慮した商品の改良に取り組んで参りました。また、原材料の国産化を進めるとともに農家との取組みを強化して参りました。例えば、ごぼうは風味を生かすために泥付のまま仕入れて自社で加工し、玄米は酸化を防ぎ旨味を増すために粳穀の状態で作成し使用する前に脱穀する、などの取組みを進めて参りました。

4月には、鶏肉の風味がそのまま味わえるソースなしのプレーンミートボールを発売し、小さいお子様を持つ方々からは「塩分も少なく無添加調理で安心して食べさせられる」、また年配の方からは「ソースが無いので色々なメニューに応用できて良い」など、年代を問わずご好評を頂いております。同時に、従来のミートボールと一緒に店頭でお知らせすることにより無添加調理の良さを再認識して頂き、ミートボールを中心に食肉加工品は好調に推移致しました。

非常食は、7大食物アレルギー配慮であることや火と水が無くても美味しく食べられること、3日分のメニューを品揃えしたことが評価され、前年同期比189.2%となりました。

平成26年8月にオープンしたコミュニティハウス「ヴィリジアン」は、小さいお子様を持つ方々に多くご来店頂き、当社商品は全て無添加調理で製造されていることなどをお伝えし、イシイブランドの浸透に有効な場となって参りました。また、音楽会や絵本作家によるイベントなども積極的に行い、地域に少しずつ根づいてきました。

生産部門におきましては、ロス・ムダの削減による付加価値の向上を目的として、一つ一つの工程におけるロスの分析と改善を行うとともに、時間と温度の管理を徹底して参りました。

このような活動を行って参りました結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は48億74百万円（前年同期比49百万円増）となりましたが、天候不順による玉ねぎ等原材料費の高騰と生産の安全対策による人件費の増加により、営業損失は1億76百万円（前年同期は91百万円の損失）となりました。

また、経常損失は1億90百万円（前年同期は94百万円の損失）となり、これに特別損失や法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億2百万円（前年同期は1億25百万円の損失）となりました。

製品別チャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

製品別売上高	(単位：千円)					
	前第2四半期連結累計期間 (26.4.1～26.9.30)		当第2四半期連結累計期間 (27.4.1～27.9.30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	4,330,279	89.7	4,368,223	89.6	37,944	100.9
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	198,443	4.1	182,640	3.8	△15,802	92.0
惣菜(サラダ・煮物他)	206,935	4.3	222,914	4.6	15,978	107.7
非常食	18,717	0.4	35,408	0.7	16,690	189.2
配慮食	17,782	0.4	19,738	0.4	1,955	111.0
その他	52,665	1.1	45,323	0.9	△7,341	86.1
合計	4,824,824	100.0	4,874,248	100.0	49,424	101.0

(単位：千円)

(チャネル別内訳)	前第2四半期連結累計期間 (26. 4. 1～26. 9. 30)		当第2四半期連結累計期間 (27. 4. 1～27. 9. 30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
スーパーマーケット・小売店他		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	4,138,482	92.6	4,174,045	92.3	35,563	100.9
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	181,274	4.0	165,672	3.7	△15,601	91.4
惣菜(サラダ・煮物他)	83,002	1.9	102,703	2.3	19,700	123.7
非常食	13,812	0.3	28,493	0.6	14,681	206.3
配慮食	9,358	0.2	10,216	0.2	857	109.2
その他	44,160	1.0	38,969	0.9	△5,191	88.2
合計	4,470,090	100.0	4,520,100	100.0	50,010	101.1

生協・宅配他	金額		金額		金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	191,796	54.1	194,178	54.8	2,381	101.2
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	17,168	4.8	16,967	4.8	△201	98.8
惣菜(サラダ・煮物他)	123,932	34.9	120,210	33.9	△3,722	97.0
非常食	4,905	1.4	6,914	2.0	2,009	141.0
配慮食	8,424	2.4	9,521	2.7	1,097	113.0
その他	8,504	2.4	6,354	1.8	△2,150	74.7
合計	354,733	100.0	354,147	100.0	△585	99.8

① 食肉加工品(ハンバーグ・ミートボール他)

4月発売のプレーンミートボールは、小さいお子様が多くお住まいのエリアから導入を行い、無添加調理、塩分量、風味の良さがご好評を頂いております。

主力のミートボール、テリヤキお弁当ミートボール、カレーミートボールの3品は、プレーンミートボールの発売に伴い、無添加調理、乳卵アレルギーに配慮していることを改めてお伝えしたことにより好調に推移し、食肉加工品の売上高は前年同期比100.9%となりました。

② 炊き込みご飯の素・まぜご飯の素

一人・二人世帯の増加に合わせた1～2合用商品の提案が遅れたことにより売上は減少致しました。また、原材料の高騰により松茸ごはんの値上げを行ったことにより販売数が減少致しました。この結果、炊き込みご飯の素・まぜご飯の素の売上高は前年同期比92.0%となりました。

③ 惣菜(サラダ・煮物他)

サラダにおいては、風味のあるごぼうサラダがご好評を頂き業務用商品の売上が増加し、惣菜の売上高は前年同期比107.7%となりました。

④ 非常食

火と水が無くても美味しく食べられる3日分の食事セットが学校、官公庁、企業からご好評を頂き、非常食の売上高は前年同期比189.2%となりました。

⑤ 配慮食

原材料及び製造工程を徹底管理している食物アレルギー配慮食専用工場が評価され、生協や幼児・子供専門店での販売が伸び、配慮食の売上高は前年同期比111.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は80億45百万円（前連結会計年度末比2億93百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少5億18百万円、売掛金の増加1億80百万円及び有形固定資産の増加45百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は37億99百万円（前連結会計年度末比14百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加68百万円、未払費用の増加69百万円及びその他流動負債の減少1億7百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は42億45百万円（前連結会計年度末比3億8百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上2億2百万円、自己株式の取得48百万円及び配当金の支払53百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は13億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億78百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は1億74百万円（前年同期は41百万円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失、減価償却費の計上及び売上債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は12億89百万円（前年同期は1億14百万円の減少）となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1億14百万円（前年同期は58百万円の減少）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出、配当金の支払額であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表致しました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,927,637	2,409,052
売掛金	1,183,714	1,364,026
商品及び製品	69,473	61,927
仕掛品	6,143	13,978
原材料及び貯蔵品	180,331	193,191
その他	42,571	48,359
貸倒引当金	△2,049	△2,360
流動資産合計	4,407,822	4,088,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,624,839	1,542,755
機械装置及び運搬具(純額)	636,766	763,342
工具、器具及び備品(純額)	56,443	50,428
土地	906,296	906,296
リース資産(純額)	17,679	25,191
有形固定資産合計	3,242,025	3,288,014
無形固定資産		
投資その他の資産	658,453	648,495
貸倒引当金	△52,912	△52,912
投資その他の資産合計	605,540	595,582
固定資産合計	3,931,422	3,957,167
資産合計	8,339,244	8,045,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	279,845	348,253
短期借入金	1,380,000	1,380,000
1年内償還予定の社債	500,000	—
未払費用	505,429	574,474
未払法人税等	27,695	16,146
賞与引当金	73,698	79,360
その他	193,002	85,519
流動負債合計	2,959,670	2,483,753
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	250,000	250,000
退職給付に係る負債	346,600	333,233
資産除去債務	23,061	23,072
長期未払金	139,894	139,894
その他	66,109	69,638
固定負債合計	825,666	1,315,839
負債合計	3,785,336	3,799,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,998,395	2,742,626
自己株式	△126,595	△174,834
株主資本合計	4,464,201	4,160,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,701	104,299
退職給付に係る調整累計額	△21,995	△18,741
その他の包括利益累計額合計	89,706	85,557
純資産合計	4,553,907	4,245,751
負債純資産合計	8,339,244	8,045,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,824,824	4,874,248
売上原価	3,063,610	3,191,982
売上総利益	1,761,213	1,682,266
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	294,687	299,048
退職給付費用	30,083	22,662
賞与引当金繰入額	36,495	36,914
支払手数料	145,879	132,803
運搬費	547,254	546,987
販売促進費	211,351	227,238
その他	586,794	592,807
販売費及び一般管理費合計	1,852,546	1,858,462
営業損失(△)	△91,333	△176,195
営業外収益		
受取利息	1,850	1,295
受取配当金	5,563	6,424
廃油売却益	5,865	9,121
その他	6,849	6,248
営業外収益合計	20,129	23,090
営業外費用		
支払利息	11,726	11,717
たな卸資産廃棄損	11,265	15,504
社債発行費	—	10,039
その他	225	626
営業外費用合計	23,218	37,888
経常損失(△)	△94,422	△190,994
特別損失		
固定資産処分損	25,061	1,435
特別損失合計	25,061	1,435
税金等調整前四半期純損失(△)	△119,483	△192,429
法人税等	5,943	10,107
四半期純損失(△)	△125,427	△202,537
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,427	△202,537

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△125,427	△202,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,071	△7,402
退職給付に係る調整額	3,554	3,253
その他の包括利益合計	41,625	△4,149
四半期包括利益	△83,801	△206,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,801	△206,686
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△119,483	△192,429
減価償却費	195,627	194,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,747	5,661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9,500	△10,113
受取利息及び受取配当金	△7,414	△7,720
支払利息	11,726	11,717
社債発行費	—	10,039
固定資産処分損益(△は益)	25,061	1,435
売上債権の増減額(△は増加)	△217,294	△180,312
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,759	△13,148
仕入債務の増減額(△は減少)	79,742	68,408
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	△2,034	△639
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,151	△94,475
その他	46,433	58,267
小計	△15,300	△148,513
利息及び配当金の受取額	7,275	7,165
利息の支払額	△11,684	△11,843
法人税等の還付額	1,617	607
法人税等の支払額	△23,696	△22,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41,788	△174,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
定期預金の預入による支出	—	△1,060,000
投資有価証券の取得による支出	△1,228	△1,246
有形固定資産の取得による支出	△212,230	△225,127
無形固定資産の取得による支出	△2,400	△3,176
その他	1,070	368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,788	△1,289,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360,000	360,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△360,000
社債の発行による収入	—	489,960
社債の償還による支出	—	△500,000
リース債務の返済による支出	△4,939	△3,101
自己株式の取得による支出	△1	△48,238
配当金の支払額	△53,231	△53,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,173	△114,611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△214,751	△1,578,584
現金及び現金同等物の期首残高	2,447,497	2,927,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,232,745	1,349,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。